

令和4年度 防災啓発の取組について

災害時、「自助・共助」が極めて重要であることから、減災効果の高い「耐震化（家具の固定含む）」「早期避難」「備蓄」の3つの行動を中心に啓発を行っている。

1 宮崎県防災の日（5月第4日曜日）

「自助・共助」への意識向上のため、「早期避難」と「備蓄」について、テレビ・ラジオCM、クイズ形式の啓発動画の制作・配信するほか、小中学生向けオンラインセミナーを開催し、気象への興味関心の醸成と風水害への備えに関する基礎知識の向上を図った。

オンラインセミナー

啓発動画（クイズ防災ゼミナール【避難編】【備蓄編】）

2 防災週間（8月30日～9月5日）

台風シーズンを前に、「非常持出品の確認」「避難の際の声かけ」「避難情報の理解」について県民の皆さんに啓発するため、テレビ・ラジオCM、啓発ショートムービーの制作・YouTube配信を行った。

ショートムービー（安天奈家の防災【風水害の非常持出品と避難】）



3 津波防災の日（11月5日）

津波防災の日の前後の期間に、地震発生時の基本の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を啓発するため、テレビ・ラジオCM、啓発ショートムービーの制作・YouTube配信を行った。

また、「県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」を実施し、県内全域で安全確保運動を実践した。

ショートムービー（安天奈家の防災【シェイクアウト訓練をしよう！】）



4 マイタイムラインの普及（12月）

災害時に余裕を持って安全に避難するために、いざという時の自分の行動を考えるツールである「マイタイムライン」を普及させるため、啓発ショートムービーの制作・YouTube配信を行った。

ショートムービー（安天奈家の防災【マイタイムラインをつくろう！】）



5 減災行動集中啓発（阪神淡路大震災や東日本大震災が発生した1月～3月を中心）

防災・減災への興味関心を醸成し、「自助・共助」を高めるイベントを開催予定。

イベント名：いつかのための、いつもの備え！！in イオンモール宮崎

日 時：令和5年3月5日（日）10：00～16：00

会 場：イオンモール宮崎 「ヒナタテラス」「北側場外駐車場」

内 容：災害体験（起震車による地震体験、煙体験、ロープワーク）

消防音楽隊による演奏、消防・警察・自衛隊等の車両展示

少年防災クラブの発表、参加団体ブースにおける啓発展示 など

<イメージ>

	
音楽隊の演奏	災害体験（煙体験）
	
消防・警察・自衛隊車両の展示	防災用品の展示

6 宮崎県防災小説コンテスト

「防災小説」とは、近未来に災害に遭遇したと仮定し、自分を主人公とした物語を800字程度で綴るもので本県では初の取組。

その時、自分や家族がどこで何をしているか、住まいがどうなるか、町の様子がどうなるかなど、災害を自分の生活に落とし込んでイメージし、「自分ごと」として考えるきっかけを作ることで、防災力を高めることを目的としている。対象は県内の高校生。

(1) 作品の内容

「令和4年12月X日18時00分に日向灘沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生した」と仮定し、その時の自分を主人公とした物語を作る。必ず希望を持って終わることが条件。

(2) 受賞者の発表

令和5年2月中旬

最優秀賞：1名

優秀賞：2名

※令和5年3月5日（日）のイベント内で表彰式を開催予定



7 防災士出前講座【NPO法人宮崎県防災士ネットワーク委託事業】

県が養成機関となり養成した防災士を含め、県内の防災士（累計 6, 147人：令和4年5月末現在）を、自治会、施設、学校、企業等へ講師として派遣し、防災講座を実施して、地域の防災力強化を図っている。

※令和4年度は12月末時点で127回実施、6, 611人が参加



8 防災士・市町村連携促進事業（地域防災力向上事業）

【NPO法人宮崎県防災士ネットワーク委託事業】

市町村が選定した地域（地区）に防災士を派遣し、地区防災計画の策定や住民主体の避難所運営訓練（マニュアル策定を含む。）を市町村と連携しながら支援している。

令和4年度は、宮崎市、都城市、延岡市で実施中

宮崎市：小松台地区

令和3年度に本事業で避難所運営マニュアル策定。

令和4年度は、勉強会や避難訓練を実施し、問題点を検証の上、マニュアルの見直しを行う。

都城市：庄内地区まちづくり協議会

当協議会に10地区の公民館が参加しており、複数回のまち歩きを実施。避難経路の確認を行った。地区防災計画の策定期間については、検討中。

延岡市：土々呂町4地区

土々呂町に建設された、防災研修センターを併設する複合型津波避難施設を活用し、防災学習やワークショップを実施するため、数回の打合せを実施。

R4. 11. 10に各地区長が複合型津波避難施設への避難経路の確認を行った。